

**使用済み商用車架装物 解体マニュアル**  
**強力吸引車**  
**(クリーンキューム®)**

1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

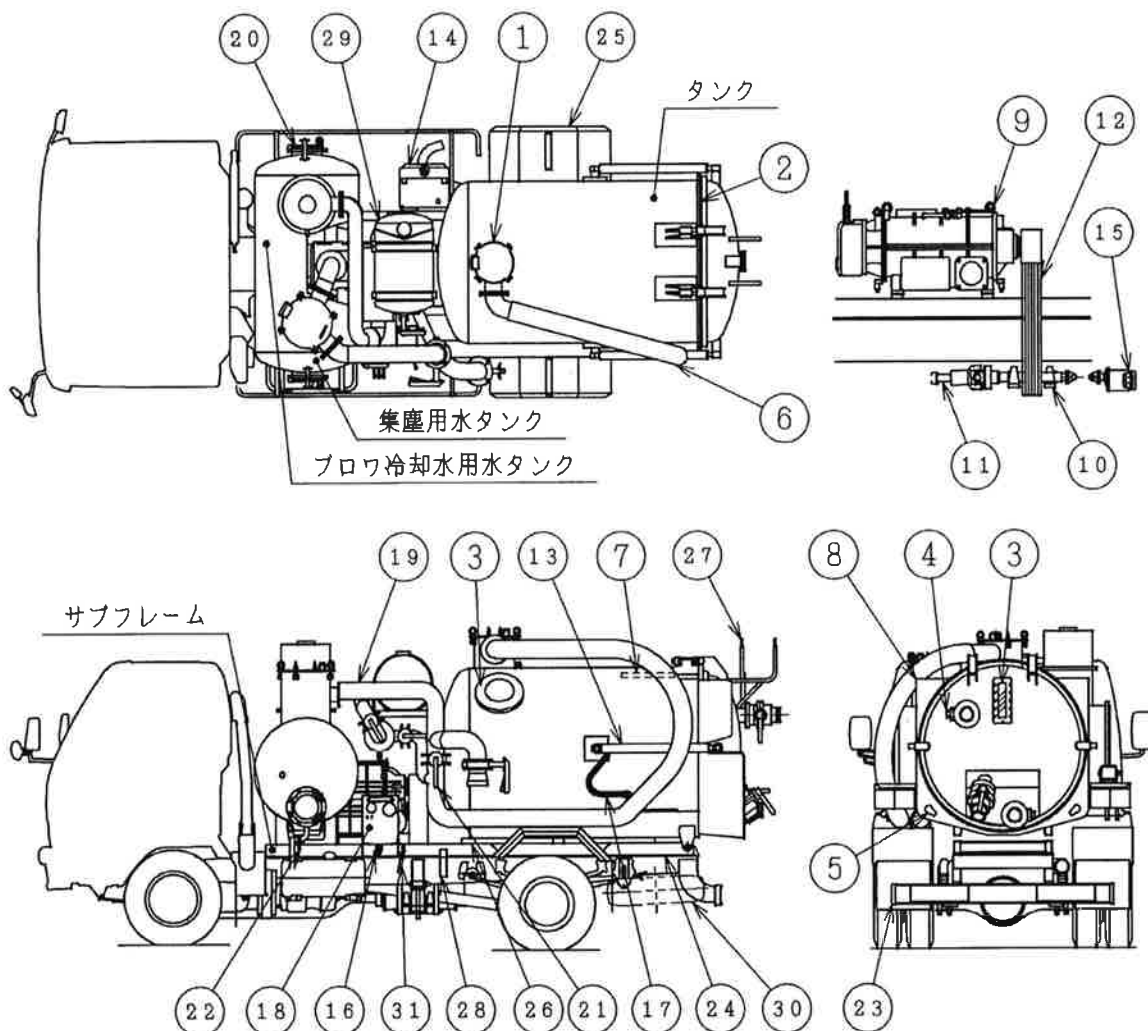
**内 容**

1. 強力吸引車架装物の構造概要
2. 強力吸引車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

**新明和工業株式会社**

**ShinMaywa**

# 1. 強力吸引車架装物の構造概要



(注記) 上図は一般的な強力吸引車を例に表示しており、車格及び仕様により形状等が異なる場合があります。

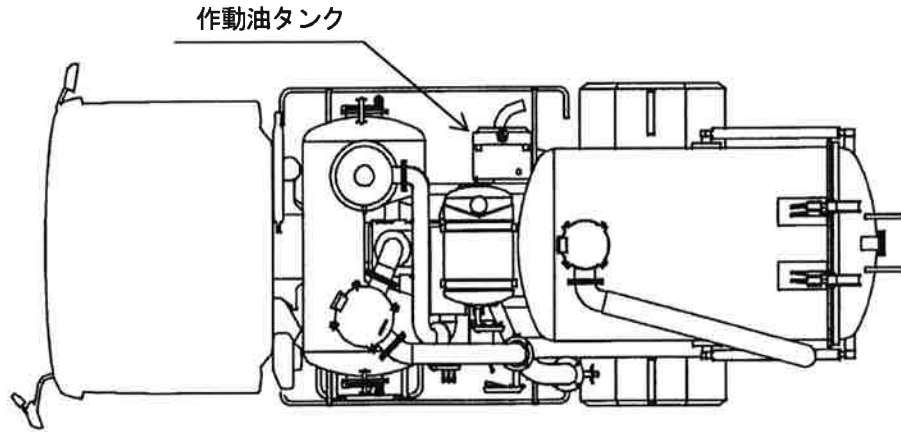
品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称	番号	品目名称	番号	品目名称
1	満量装置	9	ブロワ	17	油圧ホース・配管	25	フェンダー
2	テールゲートパッキン	10	軸受け	18	操作盤	26	クッション(受木)
3	点検口、点検窓	11	ドライブシャフト	19	空気配管	27	ホース収納具
4	バルブ	12	Vベルト	20	清掃口	28	締結具
5	テールゲートロック	13	油圧シリンダー	21	バルブ(切替用)	29	洗浄用水タンク (オプション)
6	連結用ホース	14	作動油タンク	22	バルブ(ドレン)		
7	レシーバーゴム	15	油圧ポンプ	23	リヤバンパー	30	スペアタイヤキャリア
8	テールゲートカバー	16	油圧バルブ	24	フレームスペーサー	31	アクセルケーブル

## 2. 吸引車架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	タンク内積載物の残物の洗浄、清掃処理を専門業者にて実施する。	解体マニュアル（共通編）を参照願います。
	事前処理Ⅱ	ブロワ及び油圧シリンダー、油圧ホース・配管、油タンク等の油を抜き取り、廃油は専門業者にて処理する。	[油量] 小・中型は 約 40L 大型は 約 100L
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャシと架装物を切り離します。	シャシ側とつながっているドライブシャフトを切り離す。
架装物	タンク本体	溶断、切削等により、裁断し材料により分別します。	
架装物	集塵用水タンク本体	同上	ドレン等から残液を抜く。
架装物	冷却水用水タンク本体	同上	ドレン等から残液を抜く。
架装物	サブフレーム本体	同上	
1	満量装置	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
2	テールゲートパッキン	取り外し、ゴム類に分別します。	
3	点検口、点検窓	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
4	バルブ	金属類とゴム類に分別します。	
5	テールゲートロック	同上	
6	連結用ホース	同上	
7	レシーバーゴム	同上	
8	テールゲートカバー	取り外し、分別します。	
9	ブロワ	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	ドレン等から残液を抜く。
10	軸受け	金属類とゴム類に分別します。	
11	ドライブシャフト	取り外し、分別します。	
12	Vベルト	同上	
13	油圧シリンダー	金属類とゴム、樹脂類に分別します。	取り外して、油を抜く。
14	作動油タンク	同上	ドレンから油を抜く。
15	油圧ポンプ	金属類とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
16	油圧バルブ	同上	取り外して、油を抜く。
17	油圧ホース・配管	同上	取り外して、油を抜く
18	操作盤	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
19	空気配管	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
20	清掃口	同上	
21	バルブ（切替用）	同上	
22	バルブ（ドレン）	同上	
23	リヤバンパー	同上	
24	フレームスペーサー	同上	
25	フェンダー	同上	
26	クッション（受木）	金属類と樹脂類に分別します。	
27	ホース収納具	取り外し、分別します。	
28	締結具	同上	
29	洗浄用水タンク	同上	
30	スペアタイヤキャリア	同上	
31	アクセルケーブル	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	

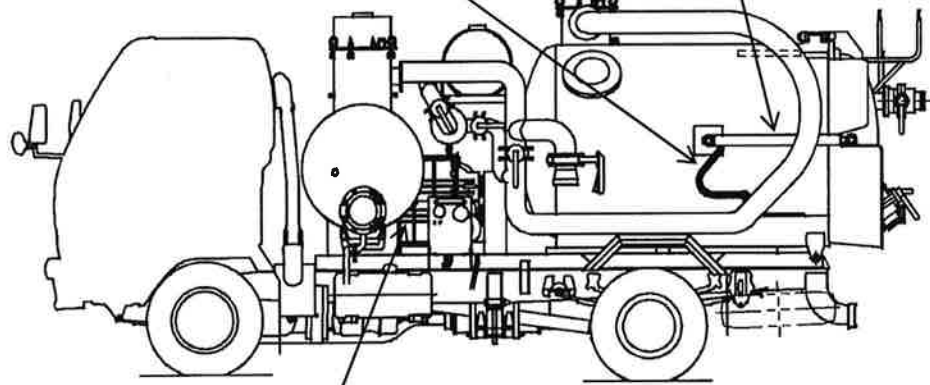
## 事前処理Ⅱ図



### 油圧ホース・配管

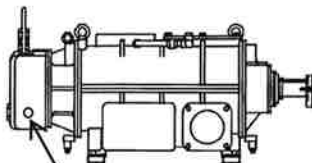
油圧ホース・配管や油圧シリンダー等については部品を取り外してから油を抜き取る。

### 油圧シリンダー



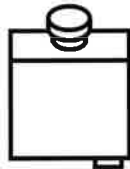
### ブロウ

ブロウギヤボックスのドレンプラグを外し油を抜き取る。



### 作動油タンク

作動油タンクのドレンプラグを外し油を抜き取る。



### 3. お問い合わせ窓口

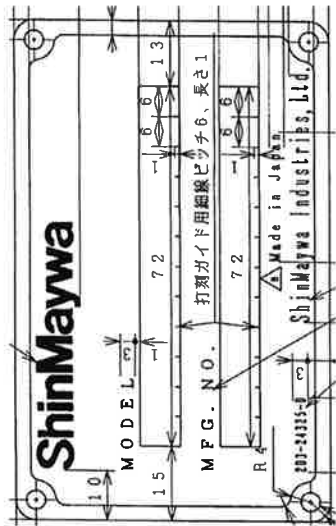
本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL : 0283-23-2226

以上

注記 本製品の材料は、KES01-012（特殊炭素鋼物質）を使用する制度を確定すること。



製造	検査	組立	材料	工作	測定	寸法	公差	具装	特記	備考	説明

<b>変更理由 REASON FOR ALTERATION</b> 変更内容 INTO EFFECT 実用履歴 09.4.24 09.4.24 変更履歴		署名 SIGNATURE 旧図番 PRIOR DWG. NO. 203-24325-0A	
--	--	--	--

特に、数値または記号で指示していない、普通寸法差（削り、鋳造、鍛造、プレス、研磨、鍍金加工）は KES01-003 による。 THE TOLERANCES NOT DESCRIBED HERE ARE BASED BY THE KAWANISHI TOLERANCES STANDARD KES01-003

図番 PART NO.	名称 NAME 型式 MODEL 工率 No. ORDER STD 尺差 SCALE 1/1	寸法 SIZE 組立図番 DWG. NO. ASSY 2103-1241325-01	数量 QUANTITY 1	備考 REMARKS 1
記号 SYMBOL 承認 APPROVED 検出 CHECKED 承認者 APPROVER	名称 NAME 型式 MODEL 工率 No. ORDER STD 尺差 SCALE 1/1	寸法 SIZE 組立図番 DWG. NO. ASSY 2103-1241325-01	数量 QUANTITY 1	備考 REMARKS 1

SRD ANGLE PROJECTION  
 三 角 法

ShinMaywa Industries, Ltd.

社外秘

図面	承認	—
設計	承認	—
材料	承認	—
工作	承認	—
組立	承認	—
検査	承認	—
公差	承認	—
刷色	承認	—
注記	承認	—
製法	承認	—
材料	承認	—
製法	承認	—

吸引車・装巻物指類材料表 (出荷時)		
品名	材料	備考
フロント	ABS	
水タンク本体	PE	車種により取付
配線コルゲートチューブ	PP	
作動油タンクのキャップ		
水・作動油タンクのバンド	PVC	
水タンクの透明ホース	PVC	車種により取付
キャッチャの透明ホース		
吸引ホース		
エア配管のホース		
フレームスベーサ		
マッドガード (後輪)	PVC	車種によりEVAC
エアフィルタ	PVDC	
タンクの点検窓	PMMA 社社ガラス	
クッション (受木)	再生ワック または木	
車輪止め	再生ワック	車種により取付

203-72432-0

本図面は、(社)日本自動車車体工業会  
「商用車装巻物の材料名表示に関するガイドライン」  
に沿って、新明和工業(株)版 材料名表示プレートとして  
作成したものである。

図	品番 ITEM NO.	承認済 APPROVED	図	PART No.	番	名	材	寸	法	部	番
				シヤン形式 CHASSIS	全車	型式MODEL GV	重量 MATERIAL	組立図DWG. NO. ASSY			
				工番No. ORDER	名称DRAWING NAME		完成重量 FINISH	203-72431-0			
				提出 DRAWN BY	尺規SCALE		図番DWG. NO.	203-72432-0			
					1/1						
図名 HISTORY 図名 SIGNATURE 旧図番 PRIOR DWG. No.											
他に、数値または記号で指示していない公差 (隅り、鋸造、銼造、プレス、鍛造、板金加工) は KES01-003 による THE TOLERANCES NOT DESCRIBED HERE ARE BASED BY THE KAWANISHI TOLERANCES STANDARD KES01-003											

3RD ANGLE  
PROJECTION

三角法

ShinMaywa Industries, Ltd.

図面 No. REFERENCE No.  
203-72432-0

3/10

日付: 2019年 3月 8日

「新環境基準適合ラベル」

## リサイクル可能率計算書

企業名	新明和工業株式会社
機種名	強力吸引車
型式、機種概要	GV4-W515C

### 1. 架装物質量表

材料名	質量 [kg]	リサイクル可否(エネルギー回収も含める)		備考
		可能質量 [kg]	不可質量 [kg]	
スチール	1876.4	1876.4	0	
ステンレス	530.4	530.4	0	
アルミ	10.2	10.2	0	
木材	0	0	0	
樹脂	37	7.5	29.5	
ゴム	25	0	25	
油脂類	18	18	0	
塗料類	30	0	30	
その他	10	0	10	電線等
合計	(A) 2535	(B) 2440.5	94.5	

### 2. リサイクル可能率

リサイクル可能率=リサイクル可能質量(B)/架装物合計質量(A)

$$= 2440.5 / 2535 = 96.3 (\%) > 95\%$$

## 特装車

Special Purpose Truck

TOP 製品紹介 サポート 支店・営業所 ニュース・イベント お問い合わせ Language

特装車 TOP / 使用済み商用車架装物リサイクルへの取り組み

## 使用済み商用車架装物リサイクルへの取り組み

使用済み商用車架装物  
リサイクルへの取り組み ①

解体マニュアル >

2005年から自動車リサイクル法が本格施行され、乗用車、商用車(キャブ付シャシ部分)と一部の架装物が自動車リサイクル法の対象になり、リサイクルに向けての運用が開始されています。

当社の特装車部門の主力製品であるダンプトラック、トラックミキサ、タンクローリ、脱着ボデー車、塵芥車、テールゲートリフタなどの架装物は自動車リサイクル法の対象外ですが、当社は一般社団法人日本自動車車体工業会の一員として、同工業会の「商用車架装物のリサイクルに関する自主的取り組み」を基本とし、使用済み商用車架装物のリサイクルに積極的に取り組んできました。その結果、当社の特装車架装物は同工業会が定める環境負荷物質自主取り組み基準（鉛、水銀、六価クロム、カドミウムの使用制限）を満たしています。

一般社団法人日本自動車車体工業会における全般的な取り組み（（一社）日本自動車車体工業会）

[「3R判断基準ガイドライン」](#) [PDF/1.13MB]

[解体マニュアル](#) >

## 中古特装車の再使用事業

2004年度から、商用車架装物リサイクルの取り組みとして中古特装車の再使用事業を立ち上げています。

[新明和の中古車販売](#)

製品紹介

サポート

ニュース・イベント

使用済み商用車架装物リサイク  
ルへの取り組み

ダンプ車

支店・営業所

お問い合わせ

解体マニュアル

環境整備車

塵芥車販売特約店

脱着ボデー車

サイトマップ

荷役装置付運搬車

液体運搬車





Japan Audit and Certification Organization  
for Environment and Quality



051



CM021

# 新明和工業株式会社 特装車セグメント

栃木県佐野市栄町2

## 登録証

登録番号:EC99J1150

ISO 14001:2015・JIS Q 14001:2015

ダンプトラック、脱着車、タンクローリ、ミキサー車、テールゲートリフタ、  
塵芥車、下水道車両他各種輸送機器架装の開発、設計、  
製造及びこれらのメンテナンスサービス

当機関は、上記組織が、当該マネジメントシステム  
要求事項に適合していることを証します。

登録日 : 1999年12月28日  
更新日 : 2017年12月28日  
発行日 : 2017年11月29日  
有効期限 : 2020年12月27日

株式会社 日本環境認証機構

東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役  
社長

立上和男

本証は登録証の一部ですので、付属書と合わせてご覧ください。



Japan Accredited Certification Organization  
for Environment and Quality

# 付属書

1/1

## 新明和工業株式会社 特装車セグメント

新明和工業株式会社

佐野地区

栃木県佐野市栄町2

【ダンプトラック、脱着車、タンクローリ、ミキサー車他架装の  
開発、設計、製造】

寒川地区

神奈川県高座郡寒川町田端 1591

【テールゲートリフタ、ダンプトラック他架装の開発、設計、製造】

広島地区

広島県東広島市八本松西 7-1-13

【塵芥車、下水道車両他架装の開発、設計、製造】

新明和オートエンジニアリング株式会社

本社・東京第1営業所

神奈川県横浜市鶴見区尻手 3-2-43

【特装車製品のメンテナンスサービス】

登録番号 : EC99J1150  
登録日 : 1999年12月28日  
更新日 : 2017年12月28日  
発行日 : 2017年11月29日  
有効期限 : 2020年12月27日

株式会社 日本環境認証機構

東京都港区赤坂 2-2-19

代表取締役  
社長

立上和男